

第33回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム プログラム

10月23日(金)

《第1会場：1F コンベンションホールA》

12:10~13:10

共催ランチョンセミナー1 共催：株式会社CGI

「輸血医療を支えるチーム医療と品質保証—CAP認定を通して考える検査室・臨床・看護の連携と安全管理—」

座長：北澤淳一（青森県立中央病院）

演者：湯田淳一郎（国立がん研究センター東病院血液腫瘍科）

伊藤雅幸（国立がん研究センター東病院臨床検査部輸血検査室）

近藤美紀（国立がん研究センター東病院看護部）

13:30~15:00

シンポジウム1「島を守る・未来へ繋ぐ～みんなで考える離島輸血医療の解決策～（日本輸血・細胞治療学会/日本プライマリ・ケア連合学会/へき地・離島救急医療学会/全国国保診療施設協議会 ジョイントシンポジウム）」

座長：高山隼人（NHO長崎医療センター，へき地・離島救急医療学会）

長井一浩（NHO長崎医療センター臨床検査科）

SY1-1 隠岐の島の現状と課題

森江祥平（隠岐広域連立立隠岐病院総合診療科）

SY1-2 離島輸血医療の課題と解決策

八坂貴宏（長崎県対馬病院）

SY1-3 ブラッドローテーションの利用

松崎浩史（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

15:10~16:10

特別講演1「VUCA時代に知っておきたい放射線・核ハザードの現状と課題～福島事故から核戦争まで」

座長：松本雅則（奈良県立医科大学輸血部）

演者：長谷川有史（福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座）

16:20~17:50

共催シンポジウム1 共催：シスメックス株式会社

「血小板減少症の新たな診断・治療戦略」

座長：松本雅則（奈良県立医科大学輸血部）

SSY1-1 血小板減少症の新たな診断戦略と血小板輸血の適正化

高見昭良（愛知医科大学内科学講座血液内科）

SSY1-2 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の新たな診断・治療戦略

酒井和哉（奈良県立医科大学輸血部）

SSY1-3 免疫性血小板減少症（ITP）の新たな診断・治療戦略

加藤 恒（大阪大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

《第2会場：1F コンベンションホールB》

12:10~13:10

共催ランチョンセミナー2 共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

「CAR-T細胞療法」

座長：池田和彦（公立大学法人福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座）

LS2-1 CAR T細胞療法におけるアフエレーシスの最適化～中間サンプリングの意義～

山崎理絵（慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法センター）

- LS2-2 CAR T 時代に造血幹細胞移植は必要か？
 —DLBCL における自家移植・同種移植の未来—
 藤原慎一郎（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

13：30～15：00

共催シンポジウム 2 共催：レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社

「寒冷凝集素症の検査と治療」

座長：和田秀穂（川崎医科大学総合臨床医学）

SSY2-1 寒冷凝集素症診断へのアプローチ—血液検査室での気づきと対応—

吉川慎一（地方独立行政法人市立吹田市民病院臨床検査部）

SSY2-2 寒冷凝集素症における診断検査と輸血前検査のピットフォール

名倉 豊（東京大学病院輸血部）

SSY2-3 寒冷凝集素症の病態・診断・治療

正本庸介（東京大学病院輸血部）

16：20～17：50

シンポジウム 2 「アフェレーシスにおけるトラブル・合併症対応の実際—多職種連携による実践的アプローチ（学会認定・アフェレーシスナース制度審議会）」

座長：細野 晃（大阪府赤十字血液センター事業推進二部医務課）

猪越ひろむ（千葉大学医学部附属病院看護部放射線・中央診療施設輸血・細胞療法部担当）

SY2-1 アフェレーシスにおけるトラブル・合併症対応の実際～有事の際のアフェレーシス看護～

猪越ひろむ（千葉大学医学部附属病院看護部放射線・中央診療施設輸血・細胞療法部担当）

SY2-2 アフェレーシス看護における体外循環トラブル対応 — CE 視点による判断支援

松岡 涼（自治医科大学附属病院臨床工学部）

SY2-3 スペクトラ オプティアを用いたアフェレーシスにおけるトラブルシューティング

毛野正軌（テルモ BCT 株式会社セラピューティックシステムズ事業）

SY2-4 骨髄バンクのドナー安全性情報の共有—骨髄バンクの「安全情報」を再確認しよう—

奥山美樹（千葉県赤十字血液センター）

10 月 24 日（土）

《第 1 会場：1F コンベンションホール A》

09：00～10：30

シンポジウム 3 「小規模医療機関の輸血」

座長：玉井佳子（弘前大学医学部附属病院輸血部）

西岡純子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター検査部検査一課）

SY3-1 山形県における在宅輸血の 10 年間の変化と地域特性

黒田 優（山形県赤十字血液センター）

SY3-2 在宅輸血における福岡県での取り組み

小田秀隆（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

SY3-3 在宅輸血の現状および普及に向けての課題と展望

大橋晃太（トータス往診クリニック/NPO 血液在宅ねっと）

SY3-4 診療所・小規模病院における赤血球製剤廃棄率関連因子の解析

藤原慎一郎（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

指定発言 小規模医療機関での輸血における東京都の取り組み

藤田 浩（東京都立墨東病院輸血科）

10：40～11：10

特別講演 2 「Pacific Connections：国際交流活動」

座長：大戸 齊（福島県立医科大学）

演者：NOLLET Kenneth Eric（福島県立医科大学輸血・移植免疫学講座兼放射線医学県民健康管理センター
 兼国際交流センター）

11:30~12:30

共催ランチョンセミナー 3 共催：ファイザー株式会社

「ノンファクター製剤時代における血友病治療戦略—ヒムペグジの位置づけを考える」

座長：関 義信（新潟大学医歯学総合病院血液内科，新潟県立がんセンター新潟病院血液内科）

演者：武山雅博（国立病院機構大阪医療センター血友病科）

12:50~14:20

共催シンポジウム 3 共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

「リンパ腫における CAR-T 細胞療法とその運用」

座長：赤木智昭（青森県立中央病院輸血・細胞治療部）

SSY3-1 CAR-T 療法はどう変わったか

—再発難治性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する CART 療法の早期導入，適応拡大と今後の課題—

八木 悠（がん・感染症センター都立駒込病院腫瘍内科）

SSY3-2 非 LBCL (FL, MCL, MZL) における CAR-T 療法の適応とタイミング

藤井伸治（岡山大学病院輸血・細胞療法部）

14:40~16:10

シンポジウム 4 「ヘモビジランス・バイオビジランス（輸血・細胞治療の情報収集・安全監視システムの構築・運用・有害事象評価と提言）」

座長：松岡佐保子（埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞治療部）

山崎理絵（慶應義塾大学病院輸血細胞療法センター）

SY4-1 日本赤十字社のヘモビジランスとトレーサビリティ

後藤直子（日本赤十字社血液事業本部）

SY4-2 国家的ヘモビジランス体制の構築と展望—J-HeST を基盤とした取り組み—

池辺詠美（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター）

SY4-3 造血細胞移植・細胞療法レジストリの概要と安全監視システムとしての役割

熱田由子（日本造血細胞移植データセンター，愛知医科大学医学部造血細胞移植・細胞治療情報管理学連携講座）

SY4-4 みまもる～適格性判断から長期フォローまで貫く CAR-T-vigilance の重要性

新井康之（京都大学医学部附属病院細胞療法科）

《第2会場：1F コンベンションホール B》

09:30~11:00

シンポジウム 5 「移植細胞療法における施設間・職種間の連携」

座長：池田和彦（福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座）

山崎奈美恵（札幌北楡病院移植医療支援科）

SY5-1 造血幹細胞移植および CAR-T 細胞療法の病病連携，病診連携ならびに多職種・施設間連携

宮尾康太郎（JA 愛知厚生連安城更生病院血液・腫瘍内科）

SY5-2 移植細胞療法の連携における造血細胞移植コーディネーターの役割

白潟美千代（公立大学法人福島県立医科大学附属病院看護部）

SY5-3 京大病院における細胞療法の多職種連携体制

丹羽紀実（京都大学医学部附属病院検査部）

SY5-4 造血細胞移植の病診連携におけるリハビリの立場

笠原龍一（東北大学加齢医学研究所スマート・エイジングセンター）

11:30~12:30

共催ランチョンセミナー 4 共催：ニプロ株式会社

「脊髄損傷に対する骨髄間葉系幹細胞治療の臨床応用と未来への展望」

座長：池田和彦（公立大学法人福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座）

演者：森田智慶（札幌医科大学医学部整形外科学講座）

12:50~14:20

共催シンポジウム 4 共催：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

「小児輸血」

座長：北東 功（聖マリアンナ医科大学新生児科）

川口千晴（大和高田市立病院小児科）

SSY4-1 CQ1 赤血球輸血

柳沢 龍（信州大学医学部附属病院輸血部・先端細胞治療センター）

SSY4-2 CQ2 血小板輸血

川口晃司（静岡県立こども病院血液腫瘍科）

SSY4-3 CQ3/4 CMV, 心不全

北澤淳一（青森県立中央病院臨床検査科・臨床遺伝科）

SSY4-4 CQ6 新鮮凍結血漿の輸注の適応疾患と輸注量はどれくらいか

梶原道子（東京科学大学病院輸血・細胞治療センター）

SSY4-5 CQ5 交換輸血

小山典久（豊橋市こども発達センター小児科）

《第3会場：3F 中会議室》

09:00~10:30

認定輸血検査技師更新必須講座「自己免疫性溶血性貧血（AIHA）における臨床と輸血検査」

座長：国分寺晃（広島国際大学保健医療学部）

名倉 豊（東京大学病院輸血部）

認定-1 自己免疫性溶血性貧血（AIHA）の病態と診療 輸血医療における注意点

正本庸介（東京大学病院輸血部）

認定-2 自己免疫性溶血性貧血（AIHA）における輸血検査の戦略と実践—自己抗体解析と同種抗体見逃し防止の要点—

伊藤正一（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

11:30~12:30

共催ランチョンセミナー 5 共催：富士レビオ株式会社/H.U. フロンティア株式会社

「HCV キャリアの見逃しを防ぐために～HCV 抗原検査が切り拓く新たなスクリーニング戦略～」

座長：渡邊隆幸（太田西ノ内病院臨床検査部）

演者：天野恵介（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）

13:40~15:10

細胞治療認定管理師制度指定講習会

座長：新井康之（京都大学医学部附属病院検査部・細胞療法センター・細胞療法科）

長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング輸血部/検査部）

細胞-1 iPS 細胞を用いた免疫細胞治療の開発

金子 新（京都大学 iPS 細胞研究所/筑波大学医学医療系）

細胞-2 生きている細胞をより活かすために、臨床現場で出来ること～細胞療法運用学の誕生と発展

新井康之（京都大学医学部附属病院検査部・細胞療法センター・細胞療法科）